

第 1 期 事業報告

(平成 22 年 1 月 12 日～平成 22 年 9 月 30 日)

はじめに

今期は、特例財団法人こしじ水と緑の会が、公益法人へ移行を果たし、新たに第 1 期をスタートさせた節目の年であった。新生法人の 6 つの公益事業を軌道に乗せることを念頭に、各事業に臨んだ。

主な事業としては、「第 9 回自然保護助成基金選考結果報告会」、「朝日城の森の植生調査」「朝日城の森の炊飯棟建設」が上げられる。

■公益財団法人こしじ水と緑の会

□公益法人移行申請後の移行認定及び法人登記について

1. 平成 21 年 11 月 27 日付にて、新潟県公益認定等審議会より県知事へ公益移行認定の答申がなされる。
2. 平成 22 年 1 月 6 日付にて、新潟県知事より公益財団法人の認定を受ける。
3. 平成 22 年 1 月 12 日付にて、法務局へ旧法人の解散登記及び新法人の設立登記を行なった。
4. 平成 22 年 1 月 26 日付にて、新潟県へ登記完了届を提出する。
5. 平成 22 年 1 月 28 日付にて、新潟県より新法人の公示がなされた。

※新潟県において、既存の特例法人として、社団 208 法人・財団 216 法人の 424 法人がある。

今回の当法人の移行認定は、新潟県における公益移行認定 1 号となった。

I. 公益事業

公1. 「財団法人こしじ水と緑の会・朝日酒造自然保護助成基金」について

(1) 第 9 回 財団法人こしじ水と緑の会・朝日酒造自然保護助成基金

□一般助成（公募を行い 24 件を受付、選考委員会で 15 件を決定）

・応募期間：平成 21 年 11 月 1 日～平成 22 年 1 月 20 日

※平成 21 年 11 月 1 日～平成 22 年 1 月 11 日の期間は、旧法人下にて募集がおこなわれた。

- ・選考：選考委員会で応募を受付けた 24 件について選考、15 件を採択・助成。
- ・交付：平成 22 年 3 月 27 日（土）に助成金交付式を開催。
- ・助成金総額：6, 682, 450 円

「第9回(財)こしじ水と緑の会・朝日酒造自然保護助成基金」助成先一覧

申請受付順（敬称略）

No.	団体名	決定額	活動名
1	上越市立立立中学校	200,000	天気とモリアオガエルの産卵調査
2	わんぱく倶楽部	370,000	津南の川や湖沼の生物（植物は除く）調査
3	新潟水生昆虫研究会	500,000	準絶滅危惧マツカサガイ（2 枚貝）の生態と分布特性に関する基礎的研究
4	いわふね自然愛好会	500,000	村上市臥牛山 <small>がきゅうざん</small> の自然総合調査と調査報告書の発行
5	NPO 法人 新潟水辺の会	500,000	海岸漂着ゴミにさせないための、新潟県内の河川ゴミ調査
6	間島啓太	490,000	高校生による北山池の生物相調査
7	生物多様性保全ネットワーク新潟	500,000	朱鷺の島 佐渡に広がる外来魚の駆除
8	セナミスミレを育む会	150,000	セナミスミレ増殖についての試み
9	板垣忠一	500,000	減反地、廃棄田の活用による生態系の復元
10	指村奈穂子	500,000	エゾヒョウタンボクの繁殖特性の評価および保全方法の提言

11	国際自然環境アウトドア専門学校	500,000	津南町におけるツキノワグマ被害の実態把握と被害防除システムの確立
12	NPO 法人 加治川ネット21	500,000	イバラトミヨの生息する農業用水路護岸の保全について
13	馬場吉弘	500,000	希少魚キタノアカヒレタビラの保全活動 ―移植前の基礎調査―
14	はあ〜とふる荒谷塾	472,450	「ともやまの里の再生」景観・生態系の復元と継続的維持システムの構築
15	粟島ドリームランド協議会	500,000	粟島における子供のためのエコツーリズム用ガイドマップ作り

(2) 第9回(財)こしじ水と緑の会・朝日酒造自然保護助成基金選考結果報告会

期 日：平成22年3月27日(土)

会 場：朝日酒造株式会社2F会議室

内 容：第9回助成基金採択15団体・個人への交付書の贈呈と活動計画の発表会。

参加者：31名(助成先団体・個人15団体、理事・評議員・事務局)

公2.「巴ヶ丘及び朝日城の森周辺地におけるモニタリングサイト1000調査」について

(1) 金子理事、事務局にて「鳥類調査」を実施。

期 間：繁殖期、越冬期の早朝に調査を実施。

・H22.05.15 繁殖期調査1回目 1名

・H22.05.30 繁殖期調査2回目 1名

越冬期調査は、H22.12に2回予定。

(2) 事務局、新潟県自然観察指導員の会のボランティア調査員にて、「植物の開花結実調査」を実施。

4月～12月まで、月1回(土曜日)午前開催を基本として実施した。

・H22.04.24 モニタリングサイト1000調査 10名

・H22.05.22 モニタリングサイト1000調査 7名

・H22.06.12 モニタリングサイト1000調査 3名

・H22.07.10 モニタリングサイト1000調査 6名

・H22.08.21 モニタリングサイト1000調査 4名

・H22.09.18 モニタリングサイト1000調査 3名

公3.「渋海川の環境保全のあり方を考える調査研究事業」について

・渋海川の生物調査について

外部専門家へ委託形式にて調査協力を求め、財団事務局にて実施した。

委託先：(有)ネイチャーワーク 代表 井上信夫

調査費：471,160円(未払い金)

公4.「水と緑の自然学校の開催」について

朝日城の森を活かした水と緑の自然学校を開催

・春の里山散策とキノコのコマ打ち体験

期 日：平成22年4月25日(日)9:00～12:00

会 場：朝日城の森

内 容：春の里山散策とキノコのコマ打ち体験

参加者：28名(他、スタッフ6名)

・草花遊びと子ども樹木博士

期 日：平成 22 年 5 月 15 日（土）9:30～14:30

会 場：巴ヶ丘自然公園

内 容：草玩具作り、草笛体験、子ども樹木博士認定プログラム

参加者：9 名（他、スタッフ 3 名）

・渋海川で川遊び

期 日：平成 22 年 8 月 7 日（土）9:00～12:00

会 場：渋海川川原（瑞穂橋下流）

内 容：魚や水生昆虫などの生きもの探し、川遊び

参加者：36 名（他、スタッフ 10 名）

公5.「ホームページ及び情報誌の活用事業」について

(1) 情報誌の発行

会報を年 5 回、各号 1,000 部を発行した。

- ・平成 22 年 2 月 15 日 創刊号発行 巻頭テーマ：ごあいさつ
執筆者：理事長 平澤 亨
- ・平成 22 年 3 月 15 日 第 2 号発行 巻頭テーマ：遺伝子の多様性って何？
執筆者：理事 中静 透
- ・平成 22 年 5 月 15 日 第 3 号発行 巻頭テーマ：信濃川の自然環境と水力発電の共生はありうるか？
執筆者：理事 大熊 孝
- ・平成 22 年 7 月 15 日 第 4 号発行 巻頭テーマ：着眼大局 着手小局
執筆者：評議員 中俣 均
- ・平成 22 年 9 月 15 日 第 5 号発行 巻頭テーマ：東京のベッドタウンの環境問題
執筆者：評議員 佐藤 寿一

(2) 財団ホームページの情報更新を実施。

※添付資料:アクセス集計

(3) その他

- ・朝日酒造株式会社 酒蔵見学会で特設展示コーナーを設けて来場者へ財団活動を伝えた。
期日：平成 22 年 3 月 6 日（土）～7 日（日）
会場：朝日酒造株式会社 2F 特設会場
- ・長岡市環境まつりに出展
期日：平成 22 年 7 月 17 日（土）～18 日（日）
会場：長岡市民センター

公6.「里山の保全と活用機会を伝え広げる事業」について

- ・施設の利便性を高め、防火上の安全に配慮するため朝日城の森へ炊飯施設を新たに建設した。
仕様：木造建て、鋼板葺き屋根、床コンクリート打ち、側面化粧耐火壁構造、釜戸数 3、薪置場付。
建設費：2,271,150 円

・春の里山に親しむ会の開催

期 日：平成 22 年 4 月 17 日（土）9:30～13:30

会 場：朝日城の森、朝日区公民館

テーマ：春の里山を五感で味わう

内 容：草花観察・山菜解説、里山のお話、山菜てんぷらの実食体験等。

参加者：31 名（他、スタッフ 17 名）

・植物調査の実施（朝日城の森）

期 日：平成 22 年

4 月 17 日 13:00～16:00 植生調査用メッシュ設定 粕谷与止男、事務局

7 月 23 日 14:00～17:00 植生調査準備 粕谷与止男、事務局

7 月 24 日 9:00～17:00 プロット内植生調査 粕谷与止男、浅野透（東北大学学生
2 名）、事務局

7 月 25 日 9:00～17:00 プロット内植生調査 粕谷与止男、浅野透（学生 2 名）、
渡辺茂、事務局

9 月 17 日 13:00～16:00 プロット内植生調査 粕谷与止男

9 月 18 日 8:00～15:00 プロット内植生調査 粕谷与止男、事務局

11 月 5 日 10:00～15:00 プロット内植生調査 粕谷与止男

11 月 6 日 8:00～12:00 プロット内植生調査 粕谷与止男

・「朝日城の森」定期管理として草刈り作業を実施

平成 22 年 6 月 8 日、7 月 27 日、8 月 2 日の 3 回を実施した。

・企業研修の受入れによる森林整備活動

期日：平成 22 年 6 月 2 日、6 月 16 日、6 月 23 日、6 月 30 日、7 月 7 日、7 月 14 日、7 月 21
日、7 月 28 日、8 月 4 日、8 月 18 日、8 月 23 日の 11 回を実施。

参加者：104 名（朝日酒造株式会社の社員）

内容：朝日城の森に親しみ・守る活動として、「森の林相を考えるプログラム（ネイチャーゲー
ム）」及び「林床の手入れ作業」を実施した。

II. その他事業

1. 寄付事業について

特定公益増進法人となったことから、寄付受入及び寄付者対応を整えるため、寄付金受領証明書及び特定公益増進法人の証明の仕方など取り急ぎ対処すべき課題について、新潟県・長岡税務署と協議をおこない、1 月 12 日付の寄付受入分より証明書の発行を行なった。

寄附金・会費（平成 22 年 1 月 12 日～平成 22 年 9 月 30 日迄）

・会 費 1 3 6, 0 0 0 円

・寄付金 1 1, 0 7 0, 1 9 5 円

※ 寄付金受領証明書として 18 件を発行

2. 新事務所について

懸案となっている新事務所の求め方については、次期計画中で建設地等の見通しを示し、次々

期にて具体的な建設計画を立案することとした。

Ⅲ. 財団の動態

・会員数の現状（平成22年9月30日現在）

① 個人会員	577名
② 法人会員	83名
計	<u>660名</u>

（参考）第9期末（平成21年9月30日現在）

① 個人会員	582名
② 法人会員	85名
計	<u>667名</u>

以上